

平成27年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版】

津山市立河辺小学校

教育目標(めざす児童生徒像)

学校教育目標

自ら学び、生き生きと表現する 心豊かな子どもを育てる  
めざす子ども像  
思いやりのある子  
進んで学び合う子  
思いを伝え合う子

今年度の指導の重点

人と人とのつながりを育てながら  
・学力の充実...基礎基本、聞く・考える・伝え合う 学習規律  
・生活の充実...あいさつ・きまり・そうじ 生活規律  
・人権教育の充実...一人ひとりが大切にされる仲間づくり  
・特別支援教育の充実...個のニーズに応じた支援  
・家庭・地域との連携の充実

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)

【学力状況調査の結果】

全国(小学校)

国語Aについては、県平均を下回っている。漢字の読み書きの正答率は県平均を上回っている。  
本校85%(県:82%)  
国語Bについては、無解答率が県平均より高い数値になっている。  
算数Aの四則計算については8割程度が理解できている。  
算数Bについては「量と測定」「数量関係」の領域は県平均と同程度であるが、「数と計算」「図形」の領域の正答率が低い。記述式の問題については正答率が下がり、無解答率が上がっている。  
理科については県平均を下回っているが、主として「知識」に関する問題よりも主として「活用」に関する問題の方が正答率が高い。

県(中学校)

国語の漢字の読み・書きの正答率が県平均より高い。活用問題の正答率が低く、「書く能力」に課題が見られる。社会の正答率は、県平均を下回っているが、資料活用の技能の平均点はだんだんとよくなっている。  
数学の「数量や図形についての知識」は県平均を上回っている。図形領域は過去4年間もよく、学習したことの定着が見られる。本校:55%(県:53%)  
数学の活用問題、数学的な考え方に課題があるが、基礎基本の定着は見られる。  
理科は全体的に県平均を下回っており、説明する力が弱い。月の動きの正答率は県平均を上回っている。

【学習状況調査結果】

「将来の夢や目標をもっている」という児童生徒の割合が上がってきている。  
「国語の授業の内容がよく分かる」と回答した児童の割合が県平均より高い。  
「友達の話や意見を最後まで聞く」という割合が県平均より高い。  
毎日、同じくらいに寝て、同じくらいに起きる児童の割合が県平均より高い。  
家で、学校の授業の予習・復習をしている児童の割合が県平均に比べ低い。  
平日にテレビを1時間以上見る児童の割合は県平均より高いが、DVDを見たりゲームをしたりする児童の割合は県平均よりかなり低い。  
携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを1時間以上する割合が県平均より高い。  
学校のきまりを守らない、友だちへの理解や思いやりに欠ける児童の割合が県平均に比べ高い。  
読書の時間がだんだんと減ってきている。

成果と課題

基本的な四則計算や漢字の読み書きについては、県平均同程度かそれ以上である。朝学習算数すいすいタイム・漢字タイムの時間を使い系統的に学年を越えた既習事項の繰り返しプリントを実施している成果と考える。今後も継続的に実施する。  
「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」「自分にはよいところがあります」と回答した児童の割合が上がってきている。本年度80%(昨年度62%)  
「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」「学校の宿題をしている」と回答した児童の割合が昨年より低くなった。  
文章で解答する問題に対して無解答率が高く、自分の考えを書いて表現することが苦手と感じる児童が多い。場面や相手に応じた言葉遣いで話すことができにくい児童の割合が多い。

課題に対応した改善方法

毎日の授業の中で、自分の考えを図や文章で書く活動を取り入れ、授業改善に取り組む。  
グループやペア学習を取り入れた学び合いを大切に授業に取り組む。  
基礎・基本の定着を図るため、算数すいすいタイム・国語わくわくタイム・漢字タイムを継続する。  
うさかめカードの提出率100%をめざし、保護者への呼びかけを積極的に行い、家庭学習の習慣の定着を図る。小中連携で取り組んでいるノーマディアデーを「うさかめカード」の中で取り入れ、テレビ・DVD等の視聴時間やゲーム等の時間が減少するようにする。  
低・中学年での親子読書、読書ボランティアによる読み聞かせ、図書館教育の充実により、本好きな子を増やし、読書量が増えるようにする。  
自分からあいさつをする、名前を呼ばれたら返事をする、言葉遣いに気を付ける等、場面や相手に応じた話し方ができるように指導していく。

取組の検証方法及び検証時期

朝学習:算数すいすいタイム・国語わくわくタイム・漢字タイムの継続の実施。  
岡山県学習到達度確認テストの実施(すいすいタイムやわくわくタイムの問題に組み込む)。  
うさかめカードの実施(年3回)。  
5・6年生においては県学力状況調査・全国学力状況調査の過去問題や同一問題・類似問題に取り組む(3学期)。

平成28年度津山市達成目標に対する具体的な目標(数値目標等)

3学期に行う算数すいすいタイム・国語わくわくタイムで、平均点が80点以上になるようにする。  
漢字ミニテストで90点以上、学期末の漢字50問テストで平均点が80点以上になるようにする。  
うさかめカードの提出率が100%になるようにする。  
宿題の提出率が100%に近づくようにする。